長野県社保協ニュース　〈22－3〉

２０１７年４月１３日（木）　長野県社会保障推進協議会

＜事務局＞長野市高田 276-8　県労連会館１階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

http://www.n-syaho.com　　E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

介護保険法改悪　自公、突然強行採決

わずか 20 時間の審議、前代未聞！

審議差し戻しを！地域・職場から抗議 FAX の集中を！

委員会傍聴記　４月 12 日、安倍総理大臣の出席で開かれた厚生労働委員会。冒頭の１０分間、民進党から「森友」「昭江夫人」問題の質問があったものの、法案審議では３割の一部自己負担増によりさらなるサービスの抑制、高齢者の生活維持そのものが困難となることが明らかになりました。「今でも家族介護による痛ましい事件が多いなか、原案通りになればもっと深刻な事態をまねくことになるがどうか」（民進）、「今の１割負担でさえ年金生活者には重い負担。500 円の支払いが限界という世帯もある。他所得者へのきめ細かい配慮こそが必要ではないのか」（共産）、など各党の質問に対し、安倍総理は早口で原稿を読む答弁に終始。また、わずかな答弁時間のなか首相の口からは「制度の持続可能性、不断の見直し」という言葉が何度も繰り返されると、詰めかけた傍聴者から失笑が漏れました。

それぞれの法案の問題点がつぎつぎに明らかにされるなか、「委員会採決」は与党から審議中断中の理事会で突然提案されたものでした。法案は 31 本の法「改正」を一括しひとつひとつ徹底した審議がもとめられていました。それが４月５日の審議開始からわずか 20 時間の審議で、法案の審議はまさに始まったばかりの採決強行でした。

委員会後に開かれた議員面会所の集会で、参加者からは「今回の審議内容は史上最低、中味を知られたくないための強行だ」「一刻も早く地域に伝え廃案への世論を広げましょう」など、怒りの声でつつまれました。情勢報告で共産党の高橋千鶴子議員は、「自公には介護法案を連休前に通し、連休後には共謀罪を審議したいという思惑がある。こんな審議のやり方では絶対に終わらせない。委員会に差し戻しましょう」との決意を語りました。

法案強行に賛成した県選出の自民党衆議院議員に抗議 FAX を送りましょう

■小松裕	北陸信越（比例）	FAX:03-3508-3945
■務台俊介	長野２区	FAX:03-3508-3334
■後藤茂之	長野４区	FAX:03-3508-3452

第3回 生存権裁判を支援する長野県の会総会

4 月 23 日（日） 13:30～16:00 予定

上田市勤労者福祉センター2F 第一会議室

①「生存権裁判のあらたな闘い」
講師：前田美津恵氏

②生活保護受給者の生活実態調査 2016
長野県民医連

社会保障・社会福祉は国の責任で
憲法２５条を守る５・１８共同集会
２０１７年5月１８日（木） 日比谷野外音楽堂